

東海旅客鉄道株)に対する目黒川で発生した気泡への対応要請について

令和6年8月に目黒川の三嶽橋下流付近にて発生が確認された気泡については、リニア中央新幹線第一首都圏トンネル(北品川工区)のシールド掘進位置の近傍が発生地点となっていることなどから、区民より不安や懸念の声が区に寄せられていた。

このような状況を踏まえ、東海旅客鉄道株)に対し、目黒川で発生した気泡への対応について、令和6年12月19日付で要請を実施した。

本要請に対し、東海旅客鉄道株)より、令和6年12月27日付で回答があった。

1. これまでの経緯

- 令和3年 1月 「中央新幹線建設事業におけるシールド工法による施工について」 発出
- 10月 調査掘進開始
- 令和6年 8月 目黒川の三嶽橋下流付近にて気泡の発生が確認
- 11月 調査掘進完了
- 「リニア中央新幹線シールド工事による安全・安心の確保について」 発出
- 12月 調査掘進での確認結果に関する説明会 開催
- 「目黒川にて発生した気泡への対応について」 発出
- 上記要請に対する回答受理

2. 令和6年12月発出の要請および回答内容

別紙1(要請)および別紙2(回答)のとおり

3. その他

区のこれまでの取り組みとして、要請内容等をホームページに掲載

品防土発第 301 号
令和 6 年 12 月 19 日

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部

中央新幹線東京工事事務所長 石井 拓一 様

品川区

防災まちづくり部長 溝口 雅之



目黒川にて発生した気泡への対応について

目黒川の三嶽橋下流付近にて発生した気泡に関しては、貴社が整備を進めているリニア中央新幹線第一首都圏トンネル（北品川工区）のシールド掘進位置の近傍が発生地点となっていることなどから、区民より不安や懸念の声が区に寄せられているところである。

また、過日、開催された「調査掘進での確認結果に関する説明会」においても、区民から、工事に対する不安の声が多く上がったときいている。

貴社におかれては、こうした区民の声を真摯に受け止め、原因究明を行うとともに、区民への丁寧な説明と適切な措置を講じるよう求めるものである。

目黒川にて発生した気泡への対応について（回答）

区ホームページより抜粋

貴庁より令和6年12月19日付で受領した品防土発第301号「目黒川にて発生した気泡への対応について」について、当社としましては、中央新幹線第一首都圏トンネル(北品川工区)のシールドトンネル掘進における計画路線周辺にお住いの皆様の声を真摯に受け止めているところです。

目黒川の三嶽橋下流付近にて発生している泡に関し当社が実施した調査結果は、これまでも貴庁へご報告してまいりましたが、とりまとめたものは別紙の通りです。

本格的な掘進にあたっては、今後も目黒川の泡の状況等を引き続き注視するほか、巡回監視や水準測量等により地表面の状況を確認します。また、調査の追加も検討してまいります。なお、これらの取り組みについては、オープンハウス型説明会等のご説明の場を設ける等、計画路線周辺にお住いの皆様にご安心頂けるよう努めてまいります。

